



中川 睦子議員

**Q** 既存の保険証廃止や資格確認書発行の不安について市の見解は

**A** マイナンバーカードの普及は市民の皆様の利便性を高める

**Q** 番号制度対応事業で出張・戸別対応とは。

**A** いずれも委託業者と職員で対応。出張対応は公共施設や病院等に向き申請を受け付ける。戸別対応は申請行為ができない人の自宅へ訪問して申請を支援する。

**Q** 外部委託は個人情報等の問題もあり、懸念されるがその対策は。

**A** マイナンバーを適正に扱う知識を有する業者に委託する。

**Q** 申請数を増やす根拠に、自治体への地方交付税がカードの交付率と関連付けられているのか。

**A** 普通交付税のうち500億円を保有率（保有枚数）上位3分の1の市町村に対し上乗せ交付されるが、本市は基準に到達していない。

**Q** 既存の保険証廃止への不安や、資格確認書発行は不適切ではないかとの声がある中、積極的な普及に取り組むべきではないのでは。

**A** マイナンバーカードは行政の効率化、市民の利便性を高めることから普及に努める。



その他の質問

- ・高齢者が地域で生き生き暮らせるための支援について
- ・学校に行きづらい子どもたちの対応について



▲庁舎内マイナンバーカード申請窓口



奥野 嘉己議員

**Q** 吉田学園のJ R稲枝駅西側地区への進出中止に関する市の見解は

**A** 吉田学園とあらゆる選択肢を調整中

**Q** 吉田学園の進出中止に伴い、予定地の農地転用の状況は。

**A** 農地転用を可能とするため、市街化区域編入について、令和6年度での都市計画決定に向け、県と協議を進めている。

**Q** 市内の別の場所の検討とは。

**A** 民間施設を含め吉田学園と調整している。

**Q** （学科数が半減する）聖泉大学との協議は可能か。

**A** 市としても、検討は行ってきた。

**Q** (株)ナイキ前の開発区域、集いのエリアでの開発事業は順調か。

**A** 一部の土地が開発区域に含まれていないが、その土地以外での開発事業は順調に進んでいると認識している。



その他の質問

- ・広報ひこね決算特集の改善提案
- ・タブレットの使用状況（ゲーム機化懸念）
- ・救急車のタクシー代替使用



▲吉田学園の予定地（道路河川課提供資料に加筆）





疋田 菜穂子議員

**Q** 今後、市として人工呼吸器用発電機等を給付対象とすることは

**A** 現状等勘案しながら前向きに検討していく



その他の質問

- ・子宮頸がんの予防、治療について

**Q** 非常時の電源がすなわち命そのものと言っても過言ではないという必要性についての認識は。

**A** 生命を維持するために、外部バッテリーや発電機、ポータブル電源がなくてはならないものと認識している。

**Q** 本市において、人工呼吸器用発電機等が給付対象でないのはなぜか。

**A** 事業開始時に人工呼吸器の外部バッテリー等非常用電源は給付種目にはなく、本市においては今年に入ってから相談であり、給付対象になっていない。

**Q** 日常生活用具給付等事業を拡充するネックとなるのは。

**A** 市において給付種目を追加したり、基準額を見直す場合には、予算の増額が見込まれる。限られた財源の中で持続可能な制度とするための工夫が必要。



▲非常用電源を活用して自助力強化



森野 克彦議員

**Q** 彦根市でも電動キックボードの導入を検討してみてもどうか

**A** 本市における導入については前向きに検討を進めていきたいと考えている



その他の質問

- ・夏休み等の放課後児童クラブでの昼食提供の推進について
- ・ラーケーションの日(※)の導入について
- ・今後の彦根の花火大会について

**Q** 米原駅での電動キックボードの導入についての見解は。

**A** 本年12月19日まで行われる実証実験の状況を注視している。

**Q** 彦根市でも電動キックボードの導入の検討をしてみてもどうか。

**A** 電動キックボードは、本年7月1日より一定の条件を満たせば運転免許不要で運転可能となり、二次交通として観光分野においてもその効果が大いに期待されている。一方で、海外では事故や違反が相次いでいることから規制強化の動きも進んでいる。また、タイヤが小さく段差や荒れた路面で転倒する危険性がある点が懸念されている。他市町での状況を注視しつつ、あらゆる面を考慮しながら、本市における電動キックボードの導入については前向きに検討を進めていきたいと考えている。

※ラーケーションの日は保護者等の休暇に合わせて届け出をすれば、子どもは学校に登校しなくても欠席とはならない日のことです。



▲米原駅で行われている電動キックボード導入の実証実験



小川 吉則議員

**Q** 彦根市の男女別平均寿命と健康寿命は

**A** 平均寿命男性82.69歳、女性88.19歳、健康寿命男性81.03歳、女性84.81歳



#### その他の質問

- ・プロシードアリーナ HIKONEについて
- ・まちなか交流棟自習スペースの活用について

**Q** 彦根市の男女別の平均寿命と健康寿命は。

**A** 令和2年度の平均寿命は男性82.69歳、女性88.19歳、健康寿命は男性81.03歳、女性84.81歳となっている。

**Q** 健康寿命を延ばすための具体的方策は。

**A** 本市では「ひこね元気計画21」を策定し、健康を支えるために地域全体で4つの施策に取り組んでいる。

1つ目は、食生活の改善や運動の継続等の生活習慣の改善に取り組むこと。

2つ目は、がんや循環器疾患、糖尿病など生活習慣病の発症予防と重症化予防を徹底すること。

3つ目は、社会生活を営むために必要な機能の維持・向上を図ること。

4つ目は、健康を支援する住民活動を推進すること。

これらに取り組むことにより、「住み慣れた地域でいつまでも、健やかに心ゆたかに暮らせるまち『ひこね』」を目指す。



▲健康寿命の延伸を進める「ひこね元気計画21（第3次）」



小川 隆史議員

**Q** 崩壊の危機にある自治会への支援の考え方は

**A** 自治会長説明会でアンケートを実施する



#### その他の質問

- ・人事行政について
- ・市民環境行政について

**Q** 崩壊の危機にある自治会への支援の考え方は。

**A** 自治会への効果的な支援への見直し、改善のためのアンケートを令和6年5月の自治会長説明会で実施する。また、見直しや改善を実施するまでの間は、自治会加入率の向上や担い手不足の解消のため、加入促進のお知らせ記事のHP掲載や加入促進チラシを転入者に配付するほか、市民向け自治意識を高める学習会も開催する。

さらに、自治会への各種補助金事業や支援事業は、窓口に来なくても申請書等の提出ができる電子申請の方法の検討や添付書類の見直しの検討を行い、自治会の事務手続きの負担軽減を図れる検討を、次年度も継続していく。



▲自治会支援窓口『まちづくり推進課』（市役所本庁舎1階）